

各位

三神地域農業指導者連絡会作物部会
三神農業振興センター

「稲作情報（第6号）」について（送付）
このことについて、下記のとおり送付しますので、業務の参考にして下さい。

稲・大豆作情報（第6号）

1. 情報田生育調査結果について

(1) 耕種概要

品種名	夢しずく (上峰町)	さがびより (みやき町)	ヒヨクモチ (神崎市)
移植日(月日)	6月11日 (平年：6/9)	6月18日 (平年：6/20)	6月23日 (平年：6/19)
栽植密度(株/m ²)	15.6 (52.1株/坪)	16.8 (55.9株/坪)	18.7 (62.2株/坪)

(2) 調査結果（8月9日現在）

品種名	夢しずく	さがびより	ヒヨクモチ
草丈(cm)	100.2	85.6	70.4
平年値(平年比)	—	77.1(111)	70.7(100)
莖数(本/m ²)	360	493	724
平年値(平年比)	—	469(105)	666(109)
葉齢(L)	13.5	13.2	13.3
平年値(平年差)	—	13.3(-0.1)	13.3(0.0)
葉色(SPAD値)	34.2	39.3	39.7
平年値(平年差)	—	38.3(+1.0)	37.7(+2.0)

概況

気象（8月4日～8月9日までの期間）

【平均気温】平年より2.1℃高い。

【日照時間】平年比106%と長い。

【降水量】平年比58%と少ない。

生育（平年と比較して）

草丈：「さがびより」は高く、「ヒヨクモチ」は平年並み。

莖数：「さがびより」、「ヒヨクモチ」は多い。

葉齢：「さがびより」、「ヒヨクモチ」は平年並み。

幼穂長：「さがびより」で0.5～1mm程度

留意点

「夢しずく」はデータ蓄積がないため、本年度データのみ記載。

注1)「夢しずく、さがびより」の平年値は、過去7か年の数値を8月9日に換算し、そのうち最高、最低を除いた5か年の平均値。

「ヒヨクモチ」はR1,2年データ欠損のため、平年値はH28～R4(R1,2除く)5か年の平均値。

注2)ラウンドの都合で小数点以下が一致しない場合がある。

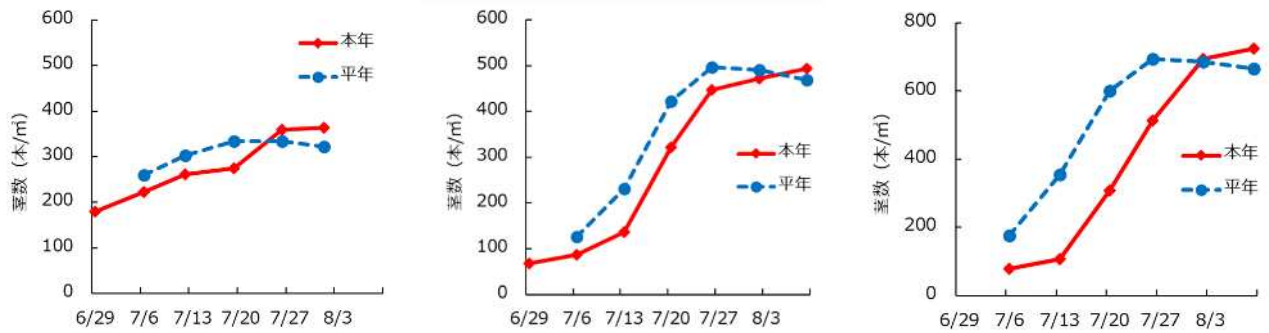


図 茎数の推移 (左：夢しずく、中：さがびより、右：ヒヨクモチ)

農業試験研究センター米づくり情報 6号 8月7日(抜粋)

本年産水稻の生育状況 (8月7日)

移植日	項目		草丈 cm	茎数 本/m ²	葉齢 L	葉色 SPAD	概況 (平年と比較して)
	品種	年次					
6月19日	夢しずく	本年	84.9	425	13.2	40.3	[気象] 7月31日～8月6日まで ◆平均気温…平年より2.6℃高い ◆日照時間…長い(平年比131%) ◆降水量…少ない(平年比16%) [生育] ◆草丈 「夢しずく」「ヒヨクモチ」は平年並、「ヒノヒカリ」は低く、「さがびより」はやや低い。 ◆茎数 「夢しずく」はやや多く、「ヒノヒカリ」は平年並、「さがびより」は少なく、「ヒヨクモチ」は多い。 ◆葉齢 「夢しずく」「ヒヨクモチ」はやや進んでおり、「ヒノヒカリ」はやや遅れている。「さがびより」は平年並。 ◆葉色(SPAD値) 「夢しずく」はやや高く、「ヒノヒカリ」は高く、「さがびより」は平年並み、「ヒヨクモチ」はやや低い。
		平年	84.0	404	12.6	38.9	
		平年比(差)	101	105	+0.6	+1.4	
	ヒノヒカリ	本年	70.4	506	12.3	40.7	
平年		76.0	508	12.6	37.1		
平年比(差)		93	100	-0.3	+3.6		
6月20日	さがびより	本年	71.2	426	12.7	38.2	
		平年	73.0	509	12.7	38.1	
		平年比(差)	98	84	±0	+0.1	
	ヒヨクモチ	本年	66.9	824	13.6	37.0	
平年		66.7	717	13.1	38.2		
平年比(差)		100	115	+0.5	-1.2		
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ヒノヒカリ」は幼穂形成始期(現在幼穂長:1.1mm)を迎えており、「さがびより」も間もなく幼穂形成始期である。穂肥の施用は、穂肥診断に基づき行う。 ○ 台風接近前は深水管理とし、台風通過後は水を入れ替え間断灌水に移行する。 ○ 発生予察情報及び圃場を確認し、適期防除に努める。 						

2. 普通期水稻の今後の管理について

台風接近時および通過後の台風対策を徹底する。
 中晩生品種は穂肥施用時期を迎える。葉色が濃い圃場も多いため、診断基準に従い、適正量を施用する。

(1) 水管理

① 台風対策の水管理

- ・ 台風接近時・・・風による稲体の揺れ動きを少なくするため深水管理とする。
特に、「夢しずく」は茎葉の繁茂度が高く、水分の蒸散量が著しい時期にあたるので、可能な限りの湛水を行う。
- ・ 台風通過直後・・・茎葉の損傷により根の老化が進むことがあるため、新しい水と交換し、こまめに間断灌水を行い、根の機能維持に努める。
- ・ 台風通過後は受講体制が乱れ、ウンカや紋枯病が発生しやすくなるため、病害虫の発生状況に十分注意し、場合によっては薬剤防除を実施する。

② 「夢しずく」の水管理

- ・ 現在、穂孕み期となっている。葉耳間長は 5cm 程度であり、7～10 日後ごろには出穂期を迎えると予想される。
- ・ これから穂揃期までは水の要求度が高いことから、強い水分ストレスを与えないよう間断灌水を実施し、湿润状態を保つ。

③ 「ヒノヒカリ」・「さがびより」・「天使の詩」・「ヒヨクモチ」の水管理

- ・ 「ヒノヒカリ」は幼穂形成期となっており、「さがびより」・「天使の詩」では間もなく、「ヒヨクモチ」では 8 月中下旬に幼穂形成期を迎える。
- ・ 中干しを完了し、間断灌水を行う。

(2) 穂 肥

- ・ 必ず「穂肥診断（草丈・葉色・幼穂長の確認）」を実施し、表 1～4 を参考に施用時期が遅れないように穂肥を施用する。

※隣接圃場が「ヒヨクモチ」だと葉色が著しく淡く見えるので留意する。

① 「ヒノヒカリ」の穂肥診断基準

表1 ヒノヒカリの出穂前日数と幼穂長の関係

出穂前日数	22 ～ 20	19 ～ 18	18 ～ 16	16 ～ 15
主稈の幼穂 (mm)	1 ～ 2	3 ～ 5	5 ～ 15	15 ～ 80

◎穂肥時期の目安

表2 ヒノヒカリの穂肥診断基準

幼穂 1mm の時の草丈	葉 色	葉色版群落葉色	SPAD	幼 穂 長 (mm)	BB602 施用量 (k g/10a)
80cm 以下	淡い	3.0 以下	34 以下	1 ～ 2	20 k g
	標準	3.0 ～ 3.5	34 ～ 38	3 ～ 5	20 k g
	やや濃い	3.5 ～ 3.8	38 ～ 39	5 ～ 15	15 k g
	濃い	3.8 以上	39 以上	15 ～ 30	施用しない
80cm 以上	淡い	3.0 以下	34 以下	1 ～ 2	15 k g
	標準	3.0 ～ 3.5	34 ～ 38	3 ～ 5	15 k g
	やや濃い	3.5 ～ 3.8	38 ～ 39	5 ～ 15	施用しない
	濃い	3.8 以上	39 以上	15 ～ 30	施用しない

※穂肥時に葉色が淡い～薄い状況で、幼穂長が 5～15 mm だった場合、2～5 割減肥する。
幼穂長 30 mm 以上の場合は、食味の低下が懸念されるため穂肥は施用しない。

②「さがびより」の穂肥判断基準

表3 さがびよりの出穂前日数と幼穂長の関係

出穂前日数	22 ~ 20	19 ~ 18	18 ~ 16	16 ~ 15
主稈の幼穂長 (mm)	1 ~ 2	3 ~ 5	5 ~ 15	15 ~ 80

穂肥時期の目安

表4 さがびよりの穂肥診断基準

幼穂 1mm 時の草丈	葉色	葉色版群落葉色	SPAD	幼穂長 (mm)	BB602 の施用量 (kg/10a)
75cm 以下	淡い	2.5 以下	34 以下	5	15 kg
	標準	3.0 ~ 3.5	34 ~ 38	10	10 kg
	やや濃い	3.5 ~ 3.8	38 ~ 39	15	7.5 kg
	濃い	3.8 以上	39 以上	施用しない	
75cm ~ 80cm	淡い	3.0 以下	34 以下	10 ~ 15	10 kg
	標準~濃い	3.0 以上	37以上	施用しない	
80cm 以上	施用しない				

※早くても幼穂長が 5mm になっていることを確認して穂肥を施用する。

※葉色が濃い圃場や幼穂長が 15 mm 以上になっている圃場での穂肥施用は、食味低下が懸念されるため、穂肥は施用しない。

③「ヒヨクモチ」の穂肥判断基準

表5. ヒヨクモチの穂肥時期と穂肥量

肥料	穂肥 I 施用量 (kg/10a)	施用時期の目安	穂肥 II 施用量 (kg/10a)	施用時期の目安	実肥施用量 (kg/10a)
LPBB804	40 (平坦:JA さが東部地区)	8月20日頃	なし	—	なし
	35 (山麓:JA さが東部地区)				
	30 (JA 神埼地区)				
BB602	25 (平坦:JA さが東部)	8月20日頃	10 (JA さが東部)	8月24日 ~ 26日 (穂肥 I の10日後)	10 (JA さが東部)
	25 (JA 神埼地区)		15 (JA 神埼地区)		

注1) 大豆跡の圃場では、穂肥の散布を控えるか、上記施用量の5割未満に減肥して施用する。

注2) 実肥を施用する場合は、穂揃期(平年:9月8日~10日頃)に施用する。

注1) 早すぎる穂肥 → 止葉が伸び、倒れやすく、籾数が多すぎて登熟が悪くなる
遅すぎる穂肥 → 籾数が少なく、減収し、米の蛋白含量が高く食味が落ちる

注2) 多すぎる穂肥 → 倒れやすく、籾数が多く登熟が悪く、蛋白含量が高く食味が落ちる
少なすぎる穂肥 → 籾数が少なく、減収し、米がやせて品質が落ちる

注3) 中干し直後に葉色が淡く草丈が低い圃場についても、中干しの乾土効果(土壌中の有機体窒素が分解によって水稻に吸収される形になる)により、急激に葉色が濃くなる場合があるため、圃場の状況に合わせて散布する。

(3) 病害虫防除について

- ・「病害虫発生予察情報第4号(7/27発表)」による主な病害虫の8月予報は以下のとおり。
各圃場での発生状況に注意し、適切な防除を行う。

①トビロウンカ・・・やや多

- ・主な飛来時期及び発生予測は右図のとおり。
- ・一部圃場ではウンカ類の幼虫(セジロウンカ中心)が確認されている。

※本年は多発生条件となっており、今後急増する場合もあるため、発生状況に注意し、適期防除に努める。防除適期は「幼虫心化揃い期」

- ・今後、発生予測は随時更新されるため、防除の考え方等については、最新情報を農業技術防除センターのホームページで確認し、適期防除に努める。

佐賀県 農業技術防除センター

防除適期②
8/20~8/26頃

防除適期③
9/20~9/26頃
農薬の使用晩限に注意

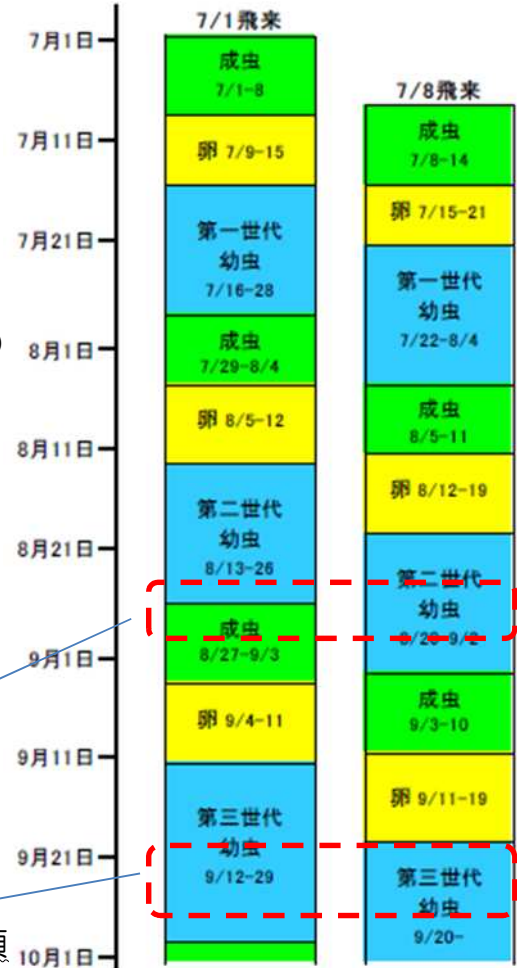


図 トビロウンカの発生予測
第2版、2023年7月25日作成

②紋枯病・・・やや多

- ・高温多湿条件が続くと、紋枯れ病が発生しやすくなるため注意する。
- ・病斑を確認した場合は、病斑が上位葉の葉鞘に進展(垂直進展)する時期に防除を検討する。(液剤・粉剤の場合は、出穂前10~20日間を目安)

③コブノメイガ・・・やや多

- ・一部圃場で葉の食害がみられる。
- ・止葉を含む上位3葉に被害が出ると減収につながるため、圃場ごとの発生状況を確認したうえで、幼虫心化揃い期(発蛾最盛期の7日後)に防除を実施する。

④斑点米カメムシ・・・やや多い

- ・耕種的な防除として、畦畔除草を出穂10日前までに行う。
- ・乳熟期(穂揃い期の約10日後)を中心に農薬防除を行い、多発生の場合はその7~10日後に2回目防除を行う。
- ・防除はカメムシが穂に上ってくる夕方に行うと効果が高い。

大豆の今後の管理について

7月15日播種で本葉5～6葉、7月20日以降播種で本葉3～4葉程度となっているが、播種時の圃場の水分条件、その後の降雨の有無により圃場間での生育格差がみられる。

今後、大豆の生育とともに必要とする水量が多くなるため、暗渠排水の栓を閉めるなどして土壤水分の確保を図る。

一方、大雨対策として明渠やうね間、排水溝をつなぐなど表面排水対策を講じておく。

(1) 今後の天候について

参考) 週間天気予報 (佐賀県8月9日17時時点 佐賀地方气象台より)

日付	今夜 09日(水)	明日 10日(木)	明後日 11日(金)	12日(土)	13日(日)	14日(月)	15日(火)	16日(水)
佐賀県	雨 	雨 	晴時々曇 	晴時々曇 	晴時々曇 	曇時々晴 	曇時々晴 	曇時々晴
降水確率(%)	-/-/100	100/90/60/20	30	30	20	30	30	30
信頼度	-	-	-	A	A	A	B	A
佐賀 気温 (℃)	最高	-	34 (33~36)	35 (33~37)	36 (34~39)	36 (34~38)	34 (32~37)	34 (32~37)
	最低	-	26	27 (25~28)	26 (25~27)	26 (25~27)	26 (25~28)	26 (24~28)

(2) 除草剤について

○播種後処理

- 播種直後に土壤処理剤を散布する。難防除雑草のヒロハフウリンホオズキ、ホソアオゲイトウの発生が多い圃場ではフルミオ、ラクサー乳剤の除草効果が高い。

○生育期茎葉処理

- イネ科の残草が多い場合はポルトフロアブル、ナブ乳剤、セレクト乳剤。
- 広葉の残草が多い場合は大豆バサグラン、アタックショット乳剤等。大豆の2葉期～開花前まで

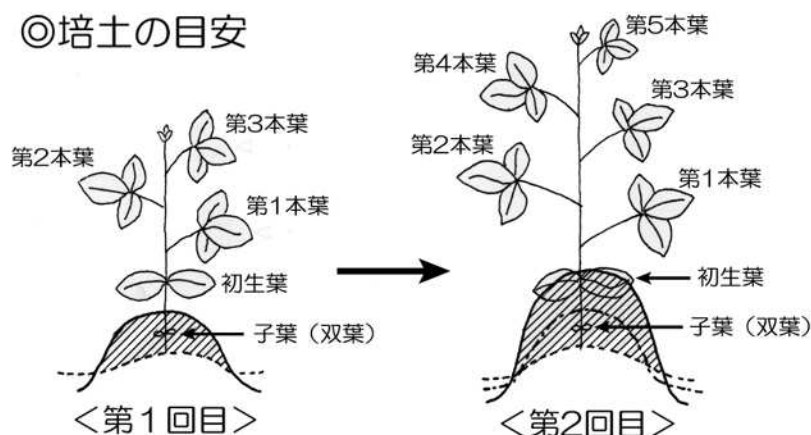
(3) 中耕・培土の実施

- 本葉が3枚開いているのを確認したら、子葉が隠れる程度まで1回目の培土を行う。
- 本葉が5枚開いているのを確認したら、初生葉（子葉の上の葉）が隠れる程度まで2回目の培土を行う。
- 特に、降雨等で除草剤の散布ができなかった圃場では、早めの中耕培土で雑草対策を行う。

※本年は高温、少雨の影響で圃場が干ばつ傾向となっている。

気温が高い日中に培土すると、土壤水分の蒸散を助長し、乾燥害を生じる恐れがあるため、作業は夕方以降が望ましい。

◎培土の目安



令和5年産水稻生育期間気象グラフ (アメダス：佐賀)

三神農業振興センター

